

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

音楽（器楽合奏）

令和 6 年 7 月

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類、弦楽器 3 種類、打楽器 1 種類が取り扱われ、奏法ごとに配列されている。「深めてみよう」や「音のスケッチ」「発展」などで、器楽と創作、鑑賞を関連付けながら学習できるように示されている。 (2) 音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、友達と一緒に演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲の充実が見られる。
27 教 芸	(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類、弦楽器 3 種類、打楽器 2 種類が取り扱われ、西洋楽器、和楽器の順で配列されている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材や教材が分かりやすく示されている。 (2) 音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、日常生活の中で触れる機会の少ない和楽器を演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、生徒になじみのある楽曲の充実が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「話し合おう」というコーナーが設けられ、楽器の特徴について自分の考えをまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。 (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、学習に役立つ演奏や動画を試聴できる二次元コードや、焦点化した写真を示すといった工夫が見られる。また「合わせて演奏しよう」「Let's Play!」「Let's Try!」の中から、学校や生徒の実態に応じて楽曲を選択できるようになっており、習得した知識・技能を活用することができるように工夫されている。 (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「表現の仕方を調べてみよう」のページが設けられ、共通点や相違点について考えて、特徴を理解することができるよう工夫されている。また、創作教材となる「音のスケッチ」では、学んだ楽器で旋律をつくったり、合奏したりする楽しさを味わえるような工夫が見られる。さらに、「深めてみよう」のページでは、関連する鑑賞教材を示す工夫が見られる。 (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、「ストリート・ピアノ」のページで、音楽を通じて人と人とのつながりを生み出す取組を示し、生涯にわたって音楽への興味・関心を持ち続けられるような工夫が見られる。

27 教 芸	(1) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「学びのコンパス」というコーナーが設けられ、楽器の合わせ方や重なり方について自分の考えをまとめ、意見の交流を通して対話によって学びが深められるように工夫されている。 (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、範奏や伴奏の音源が視聴できる二次元コード、奏法を確認できる写真などを示すといった工夫が見られる。また、細かく段階を踏んで技能習得ができるよう短い曲を設定している。「楽器でMelody」では、演奏する楽器を選択して習得した知識・技能を活用することができるような工夫が見られる。 (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各楽器の学習の導入で鑑賞曲を聴くことによって、楽器の特徴が理解できるよう工夫されている。また、創作教材である「My Melody」においては、学んだ楽器で旋律をつくり、表現する楽しさを味わえるような工夫が見られる。「アンサンブル」のページでは、様々なジャンルの楽曲が示されており、多様な表現力を育てられるような工夫が見られる。 (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、巻頭ページにおいて音楽コラムを掲載し、音楽への興味・関心や様々な楽器を学び演奏することへの意欲を高めたりするような工夫が見られる。
--------	---

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1) 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは、和楽器と世界の楽器の名手たちによる演奏写真が比較できるように掲載することで、楽器の種類を確認することができ、意欲を高めさせる工夫が見られる。 (2) 資料については、各楽器の演奏の仕方や姿勢が写真やイラストを用いて分かりやすく掲載されている。特に、太鼓については4ページを使用し、演奏例や種類、奏法が示されている。さらに、「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」のページにおいて、世界の楽器を種類ごとに示す工夫が見られる。 (3) 個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されていたり、既習事項を振り返ることができるページを示したりといった工夫が見られる。
27 教 芸	(1) 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは、一流の演奏家の言葉と写真が掲載され、楽器を演奏することのきっかけと情熱を知ることによって、音楽活動の楽しさをイメージすることができる工夫が見られる。 (2) 資料については、写真やイラストにおいて各楽器の演奏の仕方や姿勢が分かりやすく掲載されている。また、各二次元コードに読み込める動画や資料が明記されており、活用しやすくなるよう工夫されている。特に、様々な打楽器の奏法を動画で確認できるような工夫が見られる。 (3) 個別最適な学びを可能にするために、二次元コードの読み取りで学習に役立つ動画や音源を視聴できるようになっており、特に、練習曲の伴奏音源を読み込むことによって個人やグループごとの練習がしやすくなるような工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という観点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	(1) 南那珂地区の各中学校に配備されている箏の学習を推進するために、五線譜で示された練習曲で基本的な奏法を習得した後、様々な種類の奏法を取り入れた発展的な楽曲へと段階を追って習得できるように工夫されている。また、地域によっては神楽や祭りの音楽を受け継いでいる生徒もいることから、和太鼓や篠笛をはじめとする各楽器の名手からのメッセージが掲載され、活動への興味・関心を高める工夫がされている。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各楽器の基本的な奏法について、演奏時の手元の写真が大きく提示され、生徒が視覚的に奏法を習得できるように工夫されている。また、二次元コードによる正しい音を的確に把握して演奏できるように工夫されている。
27 教 芸	(1) 南那珂地区の各中学校に配備されている箏の学習を推進するために、五線譜と縦譜の両方で示された簡易な楽曲で基本的な奏法と様々な種類の奏法を習得するとともに、生徒になじみのある現代曲にもチャレンジできるように工夫されている。また、本県出身のギター奏者である大萩康司さんの写真をはじめ各楽器の名手からのメッセージ、豊富な種類の打楽器の奏法が掲載され、活動への興味・関心を高める工夫がされている。 (2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、各楽器の基本的な奏法について、さまざまな角度からの演奏写真を提示し、生徒が俯瞰して学ぶことができるように工夫されている。また、二次元コードによる解説と動画を活用して演奏できるように工夫されている。